

第 1 区 区西部区西南部

● 石川 未来 （日本赤十字社総合福祉センター レクロス広尾）

私はこれまで、介護老人保健施設や通所リハで職務し、さらに介護老人福祉施設と通所介護の開設に関わり、現在に至ります。また最近では、介護予防・日常生活支援総合事のひとつである通所型サービス C にも関わる機会にも恵まれたのをきっかけに、大学院で地域在住高齢者に関しての研究も行いました。臨床と研究を通して、改めて福祉領域や地域には OT の存在が必須であると実感しました。しかし、まだまだ福祉領域や地域で活躍する OT が少なく、地域の事業所は規模も小さいことが多いことも原因と思われますが、OT の所在がつかめず、横のつながりも築きにくいのが現状だとも感じております。そこで今回当選したあかつきには、区西南部という都心部での福祉領域や地域で活躍する OT の実践に役立つような、情報交換や情報の共有が図れることを目標に活動したいと思います。

● 菊池 大典 （専門学校 首都医校）

東京都作業療法士会の皆様、この度代議員に立候補いたしました、菊池大典と申します。私はこれまで急性期、回復期、精神科、訪問リハの各現場に従事し、現在は養成校にて後進の育成に励んでおります。

本士会では教育部にて副部長、部長を歴任し、一貫して研修会の企画・運営に尽力してまいりました。現在は教育部担当の理事として教育部の管理に加え、厚生労働省指定の臨床実習指導者講習会の責任者を務めております。

現場での実践と教育の両面を歩んできた経験から、作業療法士の質の向上には、時代に即した「卒後教育」の充実が不可欠であると考えます。今回の立候補で 3 期目となりますが、当選した暁には、これまでの経験を活かし、現職の皆様がより学びやすく、臨床の質向上に資する教育体制の構築を強力に推進していく所存です。

皆様の貴重な一票を託していただきますよう、心よりお願い申し上げます。

● 扇 浩幸 （リニエ相談支援中野）

私は、医療・介護・福祉の各分野で作業療法士として実践を重ね、精神科病院、訪問リハビリテーションでの支援経験を基盤に、現在は障害福祉サービスの就労支援事業所、特定相談支援事業所の運営・管理、および所属先の精神科サービス推進に携わっています。直近では社会人大学院にて就労支援に関する研究にも取り組み、現場で得た課題を理論的に整理し、実践へ還元することを大切にしてきました。当事者・企業・福祉・医療を横断する就労支援の現場では、制度理解のばらつきや多職種連携の難しさ、地域で活動する OT 同士の情報共有の不足といった課題を実感しています。

当選の暁には、就労支援の専門性を軸に、研究知見とこれまでの経験を生かし、実践に役立つ学びとつながりを広げ、現場の声を都士会活動へ着実に反映させてまいります。

● 和仁 久見子 （初台リハビリテーション病院）

私は東京都作業療法士会が2014年度から東京都二次保健医療域を6つの地区に分けて活動を開始した時から、西部・西南部ブロック委員として活動をしてきました。所属先のOTだけではなく、他の職場や領域のOTと協業して、OTを知ってもらう啓蒙活動、研修会の開催、都学会の運営に携わるなど様々な経験を積ませていただきました。中でも力を入れたのは西部・西南部ブロック長時代に行った、施設見学会付き交流会やミニ勉強会付き交流会です。OTになって20年。ブロック委員や東京都作業療法士会の福祉用具部員としての活動の中で様々なOTと交流して得られた知識や考え方は確実に自分のOTに活かしています。ですので、私が代議員として意識の中心に置くのは、「OTとOTを繋ぐ」ことです。東京都作業療法士会の既存の活動に参画するだけではなく、新たな活動も模索しながら、OT同士の繋がりを通してOTが発展・進化できるよう活動したいと考えています。

● 野村 哲朗 （彰栄リハビリテーション専門学校）

このたび私は、第1区 西部西南部ブロックより代議員選挙に立候補いたします。杉並区の浴風会病院にて、常勤・非常勤を通算し約12年間臨床に従事してきました。現在は彰栄リハビリテーション専門学校で教育に携わるとともに、東京都作業療法士会広報部長として会員・都民の皆様へ情報発信を行っています。現場と教育、会の広報という3つの視点を活かし、若手が魅力を感じ、活躍できる環境づくりを進めたいと考えています。代議員として皆様の声を丁寧に受け止め、具体的な取り組みとして実現してまいります。どうぞご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

第2区 区西北部

● 森本 美和 （フリーランス）

この度、代議員に立候補させていただきました森本美和です。私は現在、東京都作業療法士会の中で区西北部ブロック委員、地域づくり共創部部員、広報部員として活動させていただいております。また、豊島区リハビリテーション従事者連絡会の副会長として豊島区の地域リハビリテーション活動支援事業に携わらせていただいております。地域の中でOTが関わることの重要性や楽しさを日々感じつつ、OTの認知度が低いことや関わることのできる会員が少ないことについて危機感を覚えながら従事しております。代議員として、区西北部ブロックの会員の皆様の意見を反映させ、区西北部の住民の皆様、延いては都民の皆様の健康増進や幸福な生活の一助となれるよう努めたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

● 山下 高介 （日本リハビリテーション専門学校）

この度、東京都作業療法士会の代議員へ立候補をさせていただきました、山下と申します。どうぞ、よろしくお願いいたします。現在、養成校の教員をしながら、メンタルヘルスや子ども領域などで作業療法士として臨床に関わっています。東京都作業療法士会では、認知症と家族の生活委員会の担当理事をさせていただいております。

引き続き、東京都作業療法士会の発展に貢献させていただければと思います。どうぞ、よろしくお願いいたします。

● 竹山 眞美 （東京北医療センター）

この度、代議員に立候補させていただきました竹山眞美です。

私は現在、東京都作業療法士会の中で区西北部ブロック委員として活動させていただいております。

また、急性期病院にて入院患者様から訪問リハビリ、発達障害の小児外来と北区の地域リハビリテーションに多岐に携わらせていただいております。

地域の中でOTが関わることの重要性や楽しさを日々感じつつ、OTの認知度がまだまだ低いことや関わることのできる会員が少ないことについて危機感を覚えながら従事しております。

代議員として、区西北部ブロックの会員の皆様の意見を反映させ、区西北部の住民の皆様、延いては都民の皆様の健康増進や幸福な生活の一助となれるよう努めたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

● 宇佐美 好洋（帝京平成大学）

この度、東京都作業療法士会代議員選挙に立候補いたしました、宇佐美好洋と申します。私は2020年度より教育部担当理事を務めており、教育部では日本作業療法士協会の生涯学修制度に基づく研修の企画・運営に携わっています。

生涯学修制度は「作業療法士の質の保証」を目的として設けられた制度であり、作業療法士の質の向上と発展に欠かせないものと考えています。2025年度からは、東京都作業療法士会の代表として日本作業療法士協会 生涯教育推進委員に就任し、会員の皆様が円滑に生涯学修制度に参画できるよう尽力してまいりました。

今後も、作業療法士としての質の向上と専門職の発展に貢献できるよう、誠心誠意努めてまいります。精一杯努力いたしますので、何卒ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

● 中本 久之（帝京平成大学）

この度、東京都作業療法士会代議員選挙に立候補しました中本久之と申します。東京都作業療法士会の活動には臨床1年目から関わらせて頂き、20年を迎えます。その間、保険部の部長、理事を務め、現在は東京都理学療法士協会、東京都言語聴覚士会との共催事業に主に関わらせて頂いております。また、職場の所在地でもある豊島区では、豊島区高次脳機能障害者支援者連絡会に参画し、地域連携や学生の地域参画のための活動をしています。

引き続き、区西北部を中心とした活動をしつつも、会員の方が臨床や教育、研究を通して地域での連携、士会を越えた連携が促進されるよう、幅広く活動していきたいと考えております。代議員制度を導入している士会ですので、ぜひ忌憚のないご意見を代議員にお寄せ頂き、会員の皆様とより良い士会にできればと思います。

第3区 区東部区東北部

● 大瀧 直人 （みらいリハビリテーション病院）

今回、代議員に立候補させていただきます大瀧と申します。私は東京都足立区を拠点に、回復期から生活期に至る作業療法に従事してきました。脳卒中後上肢障害に対する rTMS 治療、BoNT-A、装具療法を組み合わせた臨床実践を軸に、地域リハビリテーション支援センター事業、高次脳機能障害普及事業、災害対策、教育事業など地域・職域を越えた活動に携わってきました。現在は区東部・東北部ブロック長として、現場の声を大切にしながら、会員間のつながりを深め、協会運営に反映する役割を担っています。臨床・教育・研究が相互に循環し、次世代につながる作業療法の発展に貢献できるよう、代議員として誠実に取り組んでまいります。

● 馬場 博文 （ライフクリニック）

私は前回より第3ブロックにおける代議員を務めさせて頂いております。

この4年間の活動としては、主に墨田区の地域リハビリテーション活動支援事業、通所型/訪問型サービス C 事業、5 歳児健診等の地域活動を東京都作業療法士会と連携しながら、務めさせて頂きました。

また、昨年の第21回東京都作業療法学会の事務局長を任命いただき、講師の先生方や公募企画の皆さま、各企業様との調整、参加者の皆さまへのご案内を中心に対応し、東京都作業療法士会における過去最大級の学会運営を経験させて頂きました。

東京都作業療法士会における活動は、私にとって作業療法士として働く上で、非常に誇り高く活動できる部分であり、今後の4年間についても、微力ながら、地域における作業療法士の価値を高めるために、東京都作業療法士会と連携をしながら、代議員としての活動を務めさせて頂きたいと思っております。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

● 猪股 英輔 （自宅）

私は、自治体と連携活動をしている第3区の代議員として推薦を受け、立候補します。都士会員としては、墨田区地域リハビリテーション活動支援事業に出向して10年目になります。第3区は、下町風情と高層住宅に転入する若者世帯が共生する土地柄であり、両者がうまく融合すれば、新しい文化が生まれそうな魅力を感じています。都士会部会活動では、2014年より旧・地域包括ケア対策委員会委員長、現・地域づくり共創部担当理事として地域作業療法を推進してきました。具体例として、生活行為向上マネジメント推進事業で研修運営に携わり、指導者として事例報告審査員を務めました。また、都士会関係部門の支援により、部員とともに地域づくり人材育成研修を構築しました。今後は、OT協会の重点課題である自治体作業療法士の配置により、作業療法士の地域支援事業への参画を推進します。第3区では、この経験を活かして、地域住民の健康づくりを実践してまいります。

● 酒井 康年 （うめだ・あけぼの学園）

東京都作業療法士会代議員候補として、これまでの経験を基盤に都士会活動に引き続き貢献したいと考え立候補いたしました。日本作業療法士協会では制度対策領域の子ども分野に関する活動に従事し、児童発達支援・教育領域を中心に実践と制度の両面から取り組んできました。

都士会においては監事を務めるとともに、こども委員会の委員として長年活動してきました。現場の実践と職能団体の取り組みをつなぎ、会員の皆さまの活動を支える視点から役割を果たしてまいります。

● 佐々木 剛 （東京都立大学）

この度代議員選挙に立候補いたしました、東京都立大学の佐々木剛と申します。代議員として、会員の皆様の意見を反映させながら、会員の皆様や社会にとって有益な組織であり続けるよう、微力ながら貢献してまいります。何卒よろしくお願い申し上げます。

● 石橋 裕 （東京都立大学）

この度代議員選挙に立候補しました、東京都立大学の石橋裕と申します。これまで、地域で生活する人々の生活行為を支援するための情報を、教育と研究の双方から発信してきました。多様化する社会のニーズに応え、会員が助け合い社会に貢献できる仕組みづくりに尽力したいと考えております。よろしくお願い申し上げます。

第4区 区中央部区南部島しょ部

● 山本 司 （東京科学大学病院）

この度、東京都作業療法士会の代議員に立候補させていただきました山本司と申します。区中央・南部・島しょブロックの委員として5年、ブロック長として4年、多くの方々に支えられて活動してまいりました。ブロック長を拝命してからは作業療法士同士の繋がりがたくさんできるように、研修会や交流会など様々なイベントを企画してまいりました。私自身も多くの『繋がり』ができ、生活や臨床などに役立つ知識や技術をたくさん得ることができました。このような作業療法の魅力を内外にPRし、作業療法の発展に寄与できればと考えております。

また、作業療法の魅力を社会に発信するとともに、作業療法士1人1人が自信を持って患者様、利用者様の支援ができる体制・環境が作られるように提言していきたいと思います。

● 阿部 幸太 （聖路加国際病院）

この度、東京都作業療法士会代議員選挙に立候補いたしました阿部幸太です。私は19年間の臨床で、急性期・回復期病院、訪問リハビリテーションなどの生活期、高次脳機能障害者支援事業、地域ケア会議といった地域事業など、多様な領域に携わってきました。その中で、作業療法の魅力や社会的意義を感じる一方、作業療法の専門性の伝わりにくさや認知度の低さといった課題も強く実感しています。

代議員として、区中央南部ブロックの会員の皆様の臨床がより充実するように、現場の声を反映させたブロック活動を通じて、都民の健康増進や生活を豊かにする一助となれるよう努めたいと考えております。作業療法の発展に尽力いたしますので、どうぞよろしくお願い致します。

● 森田 将健 （NTT 東日本関東病院）

このたび、東京都作業療法士会代議員選挙に推薦いただきました。NTT東日本関東病院の森田将健と申します。今まで回復期5年、急性期で15年の臨床を経てきました。またデイサービスや訪問、終末期での経験も得させていただきました。現在、区南部ブロックのリーダーとして、会員の皆さまの声をつなぎ、現場に還元する役割を担っています。区南部には急性期病院が多く、私自身も急性期医療の現場で作業療法に携わってきました。代議員として、区南部の特性を踏まえ、急性期ならではの課題と可能性をブロック内だけではなく都士会でも横のつながりを持ち、急性期病院で働く作業療法士の実践や学びが急性期以外の領域にも波及し、都士会全体に活かされる仕組みづくりに少しでもお役に立てればと考えています。現場の声を丁寧に拾い、区南部から東京の作業療法の未来を共に創っていくお手伝いができればと考えております。どうぞよろしくお願い致します。

● 柴橋 広智 （東京工科大学）

この度、東京都作業療法士会代議員選挙にあたり、推薦をいただきました、東京工科大学作業療法学専攻の柴橋広智と申します。これまで総合病院を中心に約16年間、急性期から生活期まで幅広い臨床に携わってきました。現在は養成校に所属し、作業療法士の育成と質の向上に取り組んでいます。都士会では区南部ブロックのリーダーとして、研修や連携の場づくりに関わってきました。その中で、領域や立場によって抱える課題が異なり、それらが十分に共有・反映されにくい現状も実感しています。今後は、現場で生じている具体的な課題やニーズを整理し、代議員として都士会の議論や施策に反映させることで、会員にとって実効性、また継続性のある活動につなげたいと考えています。微力ではありますが、東京都作業療法士会のさらなる発展に寄与できるよう、会員の皆さまと共に歩む姿勢を大切にして都士会活動に取り組んでまいります。何卒よろしくお願い申し上げます。

第5区 北多摩

● 原田 祐輔 （杏林大学）

この度、代議員選挙に立候補させていただきました原田祐輔です。

現在、自動車運転と移動支援対策委員会および市部ブロックの担当理事として東京都作業療法士会の活動に関わらせていただいております。理事として委員会やブロックの活動に参加する中で、専門職同士がつながり、支え合うことの大切さを日々実感しています。そうした活動を通して、現場の声や会員の皆さまの思いに触れる機会も多く、会が果たす役割の大きさを改めて感じるようになりました。

また、養成校の教員として学生と向き合う中で、卒前から卒後まで安心してつながり続けられる環境の重要性を強く感じています。

これまでの経験を活かし、会員の皆さまの声に耳を傾けながら、よりよい会のあり方を考えていきたいと思っております。微力ではありますが、少しでも東京都作業療法士会のお役に立てるよう誠実に取り組んでまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

● 田原 真悟 （戸塚共立いずみ野病院）

私は作業療法士として臨床経験を積み重ねる中で、作業が人と人をつなぎ、人生を前向きに動かす力を持つことを実感してきました。現在は戸田中央メディカルグループ（TMG）にて、人事採用担当副部長としてリハビリテーション部のマネジメント業務に携わり、人材育成や働きやすい職場づくりに取り組んでいます。また、東京都作業療法士会北多摩ブロック長として、OT 同士が集い、学び、つながる場づくりを推進してきました。現場と組織、地域と都士会をつなぐ視点を大切に、作業療法の価値がより広く社会に伝わるよう、代議員として都士会活動に貢献していきたいと考えています。

● 細山 泰子 （小平中央リハビリテーション病院）

私は、集団作業療法に強い関心を持ち、対象者が反応する瞬間に大きなやりがいを感じながら日々の業務に取り組んでいます。作業療法部門では責任者として臨床から新人教育まで幅広く携わり、スタッフ育成にも力を注いでおり、一人ひとりが成長していく姿に触れられることが大きな喜びとなっています。

都士会の活動では、北多摩ブロック委員として OT 同士が交流し刺激し合える「ツドイノバ」の開催に関わり、つながりを深める場づくりを行っています。また、スポーツ支援委員として地域イベントへの参加やスタッフとしてのサポートを担当し、作業療法の視点を病院外でも活かす取り組みを続けています。

教育・地域・スポーツ支援の三つの軸で作業療法の可能性を広げる活動を行っており、今後とも都士会活動の発展に向けて貢献できるよう、一つひとつの取り組みに真摯に向き合って参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

● 岡上 正樹 （西東京中央総合病院）

この度、東京都作業療法士会代議員選挙に立候補させていただきます岡上 正樹と申します。私は 20 年間身体障害領域の臨床で作業療法業務を行い、内 14 年間は回復期、療養病棟、6 年間は急性期、訪問での業務に携わって参りました。東京都作業療法士会の活動では北多摩ブロック委員広報、第 22 回東京都作業療法学会実行委員運営部門長として活動を行っております。

臨床現場で長く働いてきましたが、近年職場を越えた作業療法士同士の繋がり的重要性を強く感じております。代議員として作業療法士同士の連携、より強い専門性の確立、地域の方々への周知拡大の一助となれるよう取り組んでいきたいと思っております。微力ではございますが、どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

第6区 西多摩南多摩

● 鎌田 小百合（多摩リハビリテーション学院専門学校）

東京都作業療法士協会の代議員選挙に立候補いたしました、鎌田小百合です。私は15年以上養成校の教員として学生教育に携わって参りました。

現在、私たちの職域は、地域包括ケアや就労支援など期待される役割が増大している一方で、若手の協会離れや養成校の定員割れなど、多くの課題に直面しています。

私は代議員として、以下の3点に注力します。

1. 若手が「つながり」を感じる協会へ：教員としてのネットワークを活かし、若手と協会、臨床現場をシームレスにつなぐ環境を構築します。
2. OTのブランド力向上：なり手不足解消に向け、中高生や社会人に作業療法の魅力を戦略的に発信します。
3. 多様性を認める柔軟な教育・支援：個々の特性や価値観に寄り添う教育経験を活かし、多様な背景を持つ会員が活躍できる組織体制を提案します。

皆様の代表として、風通しの良い、より身近な協会を目指して全力を尽くします。どうぞよろしくお願い申し上げます。

● 松岡 耕史（多摩丘陵リハビリテーション病院）

この度、代議員に立候補しました松岡耕史です。私は現在、東京都作業療法士会の保険部担当理事と災害対策の担当を務めております。主に保険に関する情報を都士会員へ提供することと、各ブロックや東京都の理学療法士協会や言語聴覚士会をはじめ、様々な団体と連携しながら災害対策に関わるシステムの構築に携わっています。私自身は町田市の身体障害領域の病院に勤務しており、特に地域連携を大切にしております。今後も、ブロックや東京都三士会、地域の連携を深め、都士会員や都民の益につながるよう、代議員として取り組んでいきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

● 林 義巳（多摩リハビリテーション学院専門学校）

私は養成校に勤務しており、高等学校の進路指導の先生方と接する機会が多く、その都度、作業療法士の魅力や役割を伝える啓発活動に取り組んできました。40年前と比べOTの認知度は大きく向上しましたが、PTと比べると人気面では課題が残っています。東京都作業療法士会では理事として18年間、主に財務管理という裏方の役割を担い、安定した会運営に尽力してまいりました。これまでの経験を生かし、OTの未来と職域の発展に貢献したいと考えています。

● 今泉 幸子 （桜ヶ丘いきいき元気センター）

この度、東京都作業療法士会代議員選挙に初めて立候補させていただきました今泉幸子と申します。主として高齢者のリハビリテーションに携わって 35 年、病院・介護老人保健施設・デイケアでの業務を経験し、現在は介護予防日常生活支援総合事業の通所型サービスと訪問看護ステーションにおける訪問リハビリに従事しています。

私は西多摩・南多摩ブロックで 10 年間ブロック長を担いました。ブロック内会員同士の交流企画、共に学べる各種研修会企画などの企画・運営を多く経験してきました。その経験を活かし、第 6 区の会員の皆さんをつなぎ、皆さんの声を都士会運営に届けられるよう尽力していきたい所存です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

● 上野 繕広 （永生病院）

この度、東京都作業療法士会代議員選挙に立候補いたしました、永生病院の上野と申します。現在、西多摩・南多摩ブロックのブロック長として、地域・法人・領域を越えた連携を意識しながら協会活動に携わっております。

日々の臨床を通して感じている現場の課題や声を大切に、代議員として総会での議決や士会運営に誠実に反映していきたいと考えております。また、現場で働く会員一人ひとりが抱える悩みや工夫が、協会の方針や取り組みに適切につながっていくよう、橋渡し役を担いたいと考えています。

会員の皆さまにとって、協会活動がより身近で、現場に還元されるものとなるよう努めてまいります。

何とぞよろしくお願いいたします。